

5 本時（7時間目）の学習指導

(1) 目標 ・自分の選択した資料を友達と協力して整理し、正確に棒グラフにまとめることができる。

・各自が作成した棒グラフについて友達と交流する活動を通して、分かりやすい表現物にするために並び替えたり、少ない項目をまとめてその他にしたり、色を変えたりなど工夫することのよさに気付く。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見通し 豊感性
<p>1 学習課題を把握する。</p> <p>2 自分が選択した資料を整理して、棒グラフに表す。 ・資料整理・正確な棒グラフのかき方のポイントをまとめる。 ・かべ新聞に入れる時の目的や大きさを考えながら、作成する。</p> <p>3 友達と交流し、グラフをさらによいものにするための工夫を話し合う。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時への課題をもつ。</p>	<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>確かめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>だよりやかべ新聞に入れる分かりやすいぼうグラフにするためのよりよい方法を考えよう。</p> <pre> graph TD     A[自分の資料をよりよいグラフにするための工夫を考えよう。] --&gt; B[「正」の字を使って]     A --&gt; C[数えたものは、レ点をつけて]     A --&gt; D[合計をたしかめて]     B --&gt; E[「1目もりの大きさをきめよう」]     C --&gt; E     D --&gt; E     E --&gt; F[1番大きい数に目をつけてかこう]     C --&gt; G[「正確にかこう」]     D --&gt; G     F --&gt; H[〇〇だよりやかべ新聞の資料として使うぼうグラフをかこう。]     G --&gt; H     </pre> <p>・多い順に並び替えると、順番がよく分かるグラフになるよ。 ・1番長いぼうが用紙いっぱいになるように1目もりの大きさを決めれば、ちがいがよく分かるグラフになるよ。 ・少ないものはまとめてその他にすると、すっきりするよ。 ・1組2組3組を同じグラフにしたいときは、ぼうの色を変えるといいよ。 ・コンピュータを使うと速く、正確にグラフに表すことができるよ。 ・入れる目的によって、グラフの大きさを選ばないといけないよ。</p> <p>今日かいたぼうグラフをいれて、今度は自分のまとめている総合学習の〇〇だよりやかべ新聞を分かりやすく仕上げよう。</p>	<p>懇自分で課題をもって取り組めるように、総合学習のまとめとしての資料を扱う。また、グラフを入れた〇〇だより・一人新聞・かべ新聞の完成という目標に向かって意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>・T2は整理の仕方の重要ポイントを分かりやすく提示する。 見整理の仕方について今までの学習が活かせるように、「作戦メモ」を参考にし、見通しをもって取り組めるようにする。 見資料の整理については、効率的にできるようにグループで活動する。</p> <p>・T1は〇〇だより・一人新聞グループ、T2はかべ新聞グループについて、目もりのうち方やグラフの大きさなど助言する。</p> <p>見棒グラフのかき方について今までの学習が活かせるように、「作戦メモ」を参考にし、見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>評今までに学習したことを生かして、正確に棒グラフを作成することができたか。</p> <p>・グラフの作成のとき、コンピュータを使うと、資料によっては、速く、簡単に、正確にできるよさにも気付かせたい。(T2が支援する)</p> <p>・つまづいている児童には、ヒントコーナーに他教科で使われているいろいろな棒グラフを掲示しておき、参考にしよう助言する。</p> <p>・全体で発表する時、グラフがみんなに見えやすいように、作成中のグラフをデジカメで撮りプロジェクターで大きく映し出し、みんなのものになるようにする。</p> <p>見友達との交流で学んだことを「作戦メモ」に新たに付け加えることで、自分で調べた事を学級の友だちに分かりやすいグラフにして知らせたいという意欲がもてるようにする。</p> <p>評棒グラフをさらに分かりやすくするためのアイテムを「作戦メモ」にまとめることができたか。</p>